

防 除 情 報

平成17年3月15日
長崎県病害虫防除所長

平成16年度病害虫予察 防除情報第14号

かんきつかいよう病の防除対策について

昨年、台風の接近が多かったため旧葉にかいよう病の病斑が多く見られ、かんきつかいよう病の多発が懸念されます。今後、風雨等によって発病が拡大する恐れがありますので下記の点に留意し、防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況

3月上旬の巡回調査の結果、発病葉率（旧葉）は0.9%（平年 0.2%）、発生圃場率は43.6%（平年 13.1%）で、一部多発圃場も認められた。

2. 防除対策

- （1）発病枝や葉を除去する。
- （2）発芽前の薬剤散布が防除効果が高いので3月中に銅水和剤（クレフノン加用）を散布する。
- （3）各品種によって耐病性が異なる（表）ので、弱い品種では特に発生に注意する。なお温州みかんの中では、させば温州は本病に弱い。

表 かいよう病に対する各品種の耐病性

耐病性	品 種 名
弱 い	グレープフルーツ
やや弱い	ナツダイダイ、宮内イヨカン、天草、ありあけ
中 程 度	温州みかん、清見、不知火、南香
強 い	ハッサク、ポンカン、ユズ、キンカン、日向夏

- （4）薬剤散布に当たっては、使用基準を遵守する。